

科目ナンバー	EDU-1-031-j			科目名	初等家庭概説		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	初等家庭科教育の概要を学習指導要領で捉えた後、初等家庭科教育の内容の領域構成に沿って、自ら家庭生活を整えることができる力を養うための学習について理解を深めていきます。授業では、教師として児童に指導するために必要な知識・技術を正確に身につけます。技能の習得と教授法の工夫の視点を明確にするために、実習を通した学びを多く取り入れます。また、ここで獲得した知識と実習を通した学びの気づきが、家庭科教育法の基礎として役立つように、授業内容のまとめ毎にレポートの提出を求めます。常に自らの学びを道具として、教えることと学ぶこととの関わりについて考察しながら、授業に参加してください。						
到達目標	家庭科という教科の特徴を理解し、初等家庭科を教えるために学習指導要領の内容に関する知識を身につける。調理実習および布を用いた小物の製作に必要な技能を身につけるとともに、実習を安全に指導できる要点を理解する。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義とジグソーメソッド、グループワークを中心にを行います。食と衣の領域では実習を行います。本授業では、グループワークと発表、実習記録、個人レポート、作品の提出を行います。各課題に対し、適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	小学校教諭1種免許状取得希望者の必修授業です。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(小レポート・調理実習レポート)40%、作品20% 最終試験40% 平常点ではコミュニケーション力と自律する力、作品では実践的スキル、最終試験では識見について総合的に評価します。						
教材	『小学校学習指導要領解説 家庭編』を学生各自が用意し、毎回持参して下さい。小学校家庭科教科書は大学から貸与しますので、毎回持参して下さい。その他の資料は、授業で随時配布します。						
参考図書	後藤さゆり共著『家庭科教育（教科教育学シリーズ 第7巻）』一藝社、後藤さゆり共訳『現代家庭科教育法』大修館、高橋勝編 後藤さゆり『道徳教育論』培風館、柴田義松監修『家庭科の本質がわかる授業(1),(2),(3)』日本標準、荒井紀子『生活主体をはぐくむ 未来を拓く家庭科』ドメス出版、大竹美登利編『新版テキストブック家庭科教育』学術図書出版社、日本家庭科教育学会編『家庭科はおもしろい!』ドメス出版、筑波大学附属小学校初等教育研究会『家庭科「学ぶ力」を育てる授業づくり』明治図書出版						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス?授業の概要と進め方?授業の目標と身につけるべき力を説明した後、家庭科を指導するために必要な基礎知識の小テストを行います。						
授業外学修内容	高校までに学修した家庭科に関して、特に栄養と調理に関する分野の復習をしておくこと。小テストの復習をしておくこと。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	家庭科教育の目標・全体構造と領域Aの内容について理解を深める						
授業外学修内容	小学校学習指導要領解説家庭編の総説および家庭科の目標・内容Aを読み、整理しておくこと。授業後、現代の子どもの生活課題と家庭科に関する小レポートを作成すること。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	家庭科教育の目標・全体構造と領域B・Cの内容について理解を深める						
授業外学修内容	小学校学習指導要領解説家庭編の家庭科の目標・内容B・Cを読み、整理しておくこと。					時間数	2
4週目							
授業学修内容	学習指導要領における家庭科の内容と現代的な課題?消費生活と環境?をテーマに理解を深める。						

授業外学修内容	小学校家庭科教科書の担当箇所を熟読し、扱うべき内容と児童の生活における課題を整理しておくこと。現代の食事情に関するレポート課題に即して、参考資料にあたること。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容と子どもの生活?食育?をテーマに理解を深める。		
授業外学修内容	小学校家庭科教科書の担当箇所を熟読し、扱うべき内容と児童の生活における課題を整理しておくこと。レポート課題の参考資料を読み進めること。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	調理実習で培われる知識・技能の理解を深める		
授業外学修内容	調理実習で指導すべき内容について整理しておくこと。米飯とみそ汁の作り方を復習し、調理計画を完成させること。レポート課題の参考資料を読み進めること。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	調理実習1?米飯とみそ汁?指導できる知識と技能を身につける。		
授業外学修内容	調理実習のレポート(プリント)を完成させ次回提出すること。一食分の献立作成に必要な知識および調理法について整理しておくこと。レポート課題の参考資料を読み進めること。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	一食分の献立作成に必要な知識を深める		
授業外学修内容	グループで話し合った献立と調理法、栄養等についてプリントにまとめておくこと。レポート課題の執筆を進めること。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	調理実習2?バランスのとれた食事?指導できる知識と技能を身につける。		
授業外学修内容	調理実習のレポート(プリント)を完成させ次回提出すること。レポート課題の執筆を進めること。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	少子高齢化社会における地域の関わりと家庭科教育の果たす役割について理解を深める。		
授業外学修内容	現代の食事情に関するレポートを完成させて次回提出すること。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容?衣生活?について、自立の観点から身につけるべき力について理解を深める。		
授業外学修内容	小学校家庭科教科書の担当箇所を熟読し、扱うべき内容と児童の生活における課題を整理しておくこと。課題レポートの資料にあたること。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	布と手縫いの基礎について習得し、指導の要点を理解する。		
授業外学修内容	手縫いを指導できるように技能を習得し、ふきんを完成させておくこと。ミシンの取り扱いについて教科書で復習しておくこと。課題レポートの資料にあたること。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	ミシン縫いの技能、およびミシンの取り扱いについての知識・技能を習得する。		
授業外学修内容	ミシンの取り扱いについて児童に説明できるように整理しておくこと。課題レポートの執筆を進めること。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	ミシンを使って、バックを製作する知識・技能を習得する。		
授業外学修内容	マイバックの製作を児童に説明・指導できるように整理しておくこと。課題レポートを完成させて次回提出すること。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容?家族・家庭生活?をテーマに、家庭生活の重要性に気づかせるための指導について、理解を深める。		
授業外学修内容	小学校家庭科教科書の担当箇所を熟読し、扱うべき内容と児童の生活における課題を整理しておくこと。プリントの問題を解いておくこと。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		30	

Number	EDU-1-031-j	Subject	Outline of Primary School Home Economics			
Name	後藤 さゆり(Goto Sayuri)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2	
Course outline	0	After understanding the outline of home economics using the government curriculum guidelines, we will deepen our understanding of learning to create a lifestyle following the structure of the contents in primary school home economics. There may be knowledge and techniques from our everyday life that we have somewhat forgotten about. To learn them accurately, in this course, we will include a lot of learning through practice. Also, students will submit reports for each section of the course so that the feeling of learning they gained here through the knowledge and experience helps them as the basic methodologies for home economics. I hope students will participate in this course while considering the relationship between teaching and learning, and will always use their own learning as a tool for research.?				